

保険薬局 薬剤師の皆様

当院における薬剤情報提供欄（トレーシングレポート類似用紙）導入と 処方用量 1 回量併記の院外処方せん発行について

医療法人財団 梅田病院

病院長 太田 重久

薬剤科 宮下 重樹

平素より当院の院外処方せんの応需ならびに、適正な薬物治療の推進にご協力いただき、ありがとうございます。

このたび、医薬品適正使用促進や多剤服用（いわゆるポリファーマシー）の適正化などの観点から、当院医師への情報提供の手段として「トレーシングレポート類似」欄を印字した、新しい院外処方せんを交付することといたしました。

緊急性を要しない、服薬状況などに関する報告や処方内容に関する提案は、当院が発行する院外処方せんの右欄を活用していただけると幸いです。

今回の導入に当たり、保険薬局の先生方には手違いなど、何かとご迷惑をお掛けすることといたします。不具合などの事例がありましたら、当院薬剤科までお電話や電子メールでご一報いただきますようお願いいたします。今後の保険薬局の先生方との連携の一助とさせていただきます。

★注意点・留意点★

1. 本薬剤情報提供は、**疑義照会ではありません**。即時性の高い（処方せん通りの調剤を行うには薬学的観点から疑義を解決する必要がある）内容については、従来通り、**電話にて処方医へ疑義照会を行ってください**。
2. トレーシングレポート等 F A X 送信いただいても、全ての内容を処方医・主治医に情報提供するわけではありません。
3. トレーシングレポート等への当院からの回答は、保険薬局あてに F A X で行います。ただし、回答を行うかは内容を精査した上で個別に判断させていただきます。全ての情報提供に対して梅田病院薬剤科から返答を行うものではありませんので、ご理解くださるようお願いいたします。
4. 当院からの返答が無い例であっても、当院薬剤科に電話にて照会いただければ、できる限りの対応をさせていただきます。（ただし、対応が困難な場合や回答に時間がかかることもありますので、あらかじめご了承ください）
5. 当院への薬剤情報提供に関する F A X 様式は問いません。当院院外処方せんの右欄以外にも、各施設等で使用しているフォーマットがあれば、お使いいただいても構いません。

F A X 番号：03-3889-7353

- FAX を送信いただいても、薬剤科職員が内容を即時把握できませんので、送信内容にはご注意ください
- 個人情報が含まれておりますので、送信の際は FAX 番号を十分ご確認ください（梅田病院薬剤科へのお電話やメールの際の連絡先は次ページ以降を参照ください。）

保険薬局 薬剤師の先生方へ

このようなとき処方せん右欄の【通信欄（トレーシングレポート類似用紙）】でFAXください

医療法人財団 梅田病院 薬剤科

■「アモバンを飲んでいる患者さんだけど、苦くてのみづらいって・・・。高齢者だし・・・」

☞ 次回の診察で、高齢者だし超短時間型なので「マイルリー錠5mg」に変えたりしてほしい

※ 上記のような、薬物治療上の問題点を当院に情報提供して頂く場合、代替案も一緒にお示しいただくと非常に助かります。

（当院の採用薬が不明の場合は、お電話で当院薬剤科スタッフまでお問い合わせください。採用薬一覧集の配布なども適宜対応させていただきます。）

■「定期薬処方でもいつも“ムコダイン錠250mg”が処方されるけど、この患者さんは老健施設でPEGから薬剤を投与中・・・」

☞ 次回の処方せんからは「粉砕」の指示または、「ムコダインDS50%」の処方などにできれば

■「定期処方にある“メイラックス錠1”はいつも飲んでないって患者さんが・・・」

「毎回処方せんでオーダされるけど、家にも余っているみたいだしな・・・」

☞ 次回の診察時は「メイラックス錠1」の処方は削除してもらえるといいな

★ 当院に送信いただいたFAXは、原則そのまま(原本のまま)医師へ供覧する形を取りますので、簡潔に分かりやすく記載いただきますようお願いいたします。

【連絡先】

①FAX番号：03-3889-7353 ※薬剤科直通の番号ではありません

（送信いただいても、薬剤科にて即時内容が確認できませんので、送信内容にはご注意ください）

②電話番号：03-3840-4511（病院代表）

→ 疑義照会など、処方医に直接確認していただく場合：各診察ブースの医師へ

→ 本件に関し、薬剤科スタッフへ確認していただく場合：内線 410（薬局へとお伝えください）